アフターサービスについて

保証書について

- 別添の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

サービスを依頼される前に

- まず25~28ページの「故障かな！？」を確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
  1. ご氏名・ご住所・電話番号・道順(付近の目印)
  2. 品　名……ガス給湯暖房機
     品番または機器コード…正面右上部または右下部に表示してあります。
  3. お買い上げ日
  4. 故障または異常の内容(エラーコードなどできるだけ詳しく)
  5. 訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後10年です。

転居または機器を移設されるとき

- ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増改築などのため熱源機を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、熱源機本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設に伴う調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にお問い合わせください。

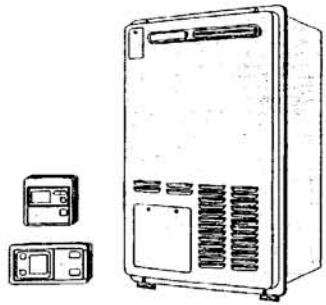
保守契約制度

- 保守契約制度（有料）に加入いただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご相談ください。

KGH0501LS3A1
F0198-0

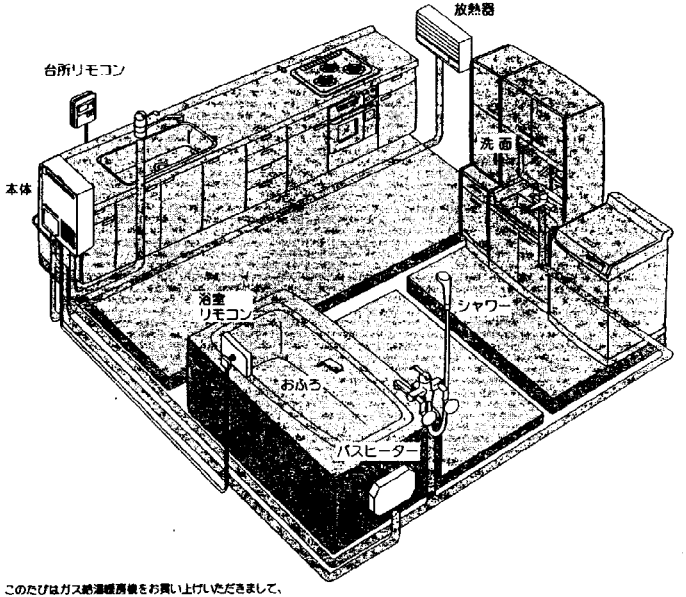
ガス給湯暖房機　取扱説明書

品　名		型　式　名	設置方式
AD-248RA-Q	44-070型 (44-071~073型)	AD-248RA-Q (-C, -D, -E, -F, -G)	屋外式
AD-248FA-Q	44-074型	AD-248FA-Q	屋内式
——	44-090型 (44-091~093型)	AD-368RA-Q (-C, -D, E)	屋外式
——	44-094型	AD-368FA-Q	屋内式



給湯・暖房が同時に使える独立運転

- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房。
- 暖房水が少なくなると自動で足す自動補給機能付。
- 熱源機の不具合をリモコンにエラーコードでお知らせします。



※リモコンの有無・組み合わせは設置条件により異なります。

このたびはガス給湯暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用の前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- 別添の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。
- 来客者などが熱源機を使用されるときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にて再購入してください。

!

- 本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく熱源機の寿命が縮まります。

もくじ

必ずご確認ください

必ず ご確認ください

ページ
- 安全上のご注意……4
- 使用上のお願い……10

使いかた

すぐ 使いたいとき

ページ
- 早見表……12
- 初めてお使いになるとき……14
- お湯の出しかた……16
- お湯はりのしかた……18
- おふろのお湯をあつくしたいとき……20
- シャワーの使いかた……21
- 暖房のしかた……22
- 日常の点検とお手入れ……23

必要なときにお読みください

もし 必要なとき

ページ
- 故障かな!?……25
- 凍結予防について……29
- 名前のなまえ……33
- 仕様……36
- アフターサービスについて……裏表紙

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

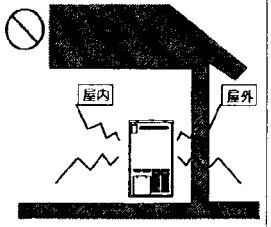
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

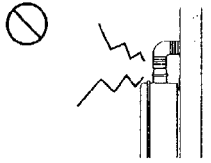
設置工事時のご注意

■屋内に設置しない(屋外式の場合)



燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない(給排気筒使用の場合)



燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

ガス漏れ時のご注意

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、もよりのガス会社へ連絡する

ガス栓を閉める

窓や戸を全開にする
(屋内式の場合)

もよりのガス会社に連絡する

そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない

引火し、爆発・火災の原因となります。

⚠警告

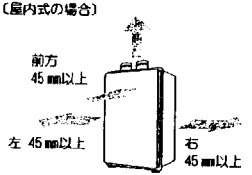
■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にする

(旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう (☞30, 31ページ))

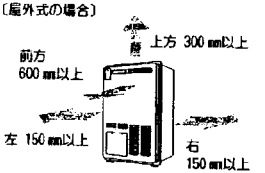
ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■燃えやすいものとは離す

〔屋内式の場合〕



〔屋外式の場合〕



(前方は点検・修理ができるように600 mm以上の空間を設けてください。)

上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

必ず ご確認ください

安全上のご注意 (必ずお守りください)

給湯・シャワー使用時のご注意

■シャワー使用時は、配管内の湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用する、また入浴時も湯温を確認する

確認を怠ると、やけどの原因となります。

■熱湯と水との混合水栓では、必ず先に熱湯の栓を止める

水側を先に止めると配管内に熱い湯が残り、再出湯時熱い湯が出てやけどの原因となります。

■混合水栓ではシャワーと蛇口との切り換えレバーは必ず定位置まで回す

途中で止めると熱い湯が出て、やけどの原因となります。

■混合水栓を使用している場合他の給湯栓を開けるとやけどの恐れがあります

やけど注意

急に熱い湯が出ることがあります。

- 配管内の熱い湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用してください。

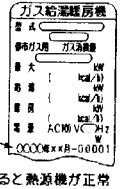
■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない

高温に設定されると熱湯によるやけどや、低温に設定されたりスイッチ「切」にされると冷水になりびっくりしてけがの原因となります。

■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する

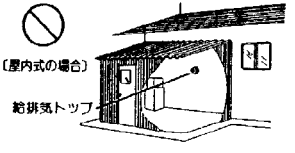
正常に熱源機が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

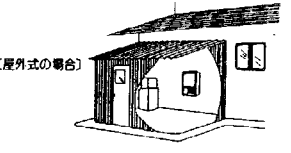
■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する



他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

■増改築などにより屋内状態にしない（波板などにより囲いをしない。）





十分な給排気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

警告

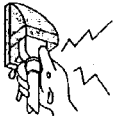
■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

■濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない



感電の原因となります。

■電源コード・電源プラグを破損させるようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具(高温部)に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100 V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

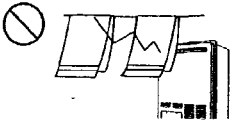
■電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグをもって抜く

コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。

■スプレー缶を給排気口（トップ）の前方に置かない、前方で使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

■給排気口（トップ）をおおわない



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

必ず ご覧ください

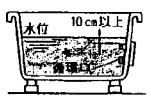
安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠警告

■屋外に設置しない（屋内式の場合。ただしパイプシャフト設置の場合は除く）

炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り熱源機故障の原因となります。

■追いだきするときは水位が上部循環口より10 cm以上、上にあることを確認する



やけど、熱源機故障の原因となります。

■バスヒーターを使用の場合、過温になると浴室リモコンの追いだきスイッチを「切」にし、バスヒーターのバルブを閉める

そのままにしておくと浴そうの湯温が上がり、やけどの原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない

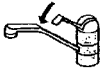
火災の原因となります。

■おふろを沸かした時は、必ず湯をかきまぜ、まず手で湯温を確認する

お湯の上部が熱いので、やけどの原因となります。

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う

給湯栓を閉める



運転スイッチを「切」にする

給水元栓・ガス栓を閉める

お買い上げの販売店またはガス会社に連絡する

そのままにしておくと火災の原因となります。

■バスヒーター使用中は、循環口付近に触れたり、身体を近づけない

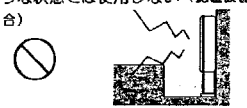
循環口から熱湯が出るので、やけどの原因となります。

■子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうの循環口付近に潜ったりしない

思わぬ事故の原因となります。

⚠注意

■排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない（据置設置の場合）

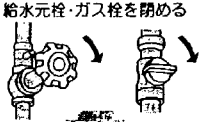


火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

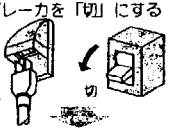
- 販売店にご相談ください。

■点検・お手入れ時は、次の手順に従う

給水元栓・ガス栓を閉める



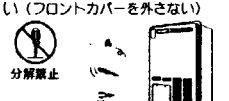
電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする



熱源機が冷えてから行なう
(23-24ページ)

上記手順に従わないと、やけどや熱源機故障の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解・改造をしない（フロントカバーを外さない）



不備が生じた場合、火災や熱源機故障の原因となります。

- 販売店に依頼してください。

■給湯・シャワー・バスヒーター・温水暖房・浴室乾燥用として使用する

他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

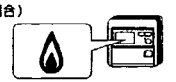
■凍結後再使用する際は、全ての給湯栓から水が出ることを確認し、熱源機および配管から水漏れのないことを確認する

水漏れによる床や壁などの損害は、お客様の御負担となります。

■熱源機内に長時間たまっていた水や、朝一番に使用のお湯は飲まない、調理に使わない

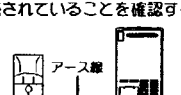
健康を損なう恐れがあります。（雑用水としてお使いください。）

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示の点灯・消灯を確かめる（リモコンがある場合）



熱源機の異常を早期に発見できなくなります。

■アース接続されていることを確認する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。

- アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

必ず ご確認ください

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠注意

■使用中や消火直後は、排気口（トップ）付近に触れない

やけどの原因となります。

■パネルヒーターの表面は触らない（パネルヒーター使用の場合）

やけどの原因となります。

■床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間すわったり寝そべったりしない

低温やけどの原因となります。

■車両・船舶への設置はしない

振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

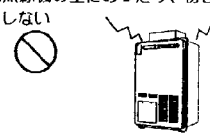
■床暖房の上に電気カーペットを敷かない

床材の割れ、そり、膨張の原因となります。

■カーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない

温水パイプが破損し、温水が噴き出します。

■熱源機の上にのったり、物をのせたりしない



やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

■浴そう内の循環口はタオルなどでふさがない

やけどや熱源機故障の原因となります。

使用上のお願い

■台所リモコンは直射日光、水しぶき、蒸気のかかる場所で使用しない、設置しない

水しぶきなどがかかると台所リモコン故障の原因となります。

■混合水栓を使用の場合、出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水栓）を選ぶ

熱源機作動不良の原因となります。

使用上のお願い

必ずご確認ください

■ソーラー（太陽熱温水器）システムと接続する場合は次に従う

・50℃以下のお湯を使用する時は、リモコンの運転スイッチを「切」にして混合水栓で調節する
・できるだけサーモミキシングバルブをご使用ください。
・給水温度が60℃を超えると沸騰防止装置により自動的に燃焼を停止します。（自動的に復帰します。）
・真空断熱型などでソーラーシステムからの出湯温度が60℃以下に調整できないものには接続しない

熱源機への給水温度によっては、湯温が設定温度にならない場合があります。

■混合水栓を使用の場合ときどき水だけを流す、またはサーモミキシングバルブご使用時はリモコンの温度設定をバルブの温度設定より高め（3～5℃）にする

給水側の水が長い間流れないと、一瞬にごった湯（赤水など）が出る場合があります。

■この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しない

熱源機故障の原因となります。

■使用後は運転スイッチを「切」にする

凍結し給湯管が破裂した場合や、子供がいたずらしたときお湯が出続ける場合があります。

■２４時間風呂には、使用しない

２４時間風呂への対応はしていません。

■断水のときは、給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にする

そのままにしておくと熱源機故障の原因となります。

■水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

熱源機作動不良の原因となります。

■テレビやラジオとは1.5ｍ以上離す

上記の距離を保たないと雑音の原因となります。

■熱源機に「法定のステッカー」が貼付されていることを確認する（屋内式の場合）

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

■浴室リモコンは直射日光の当たる場所で使用しない、設置しない

浴室リモコン故障の原因となります。

■停電のときは、給湯栓を閉める

燃焼が停止し、水になります。

■夏期などぬるめのお湯がでないときは湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度より高くなる場合があります。

■燃焼中、電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にして消火しない

熱源機故障の原因となります。

早　見　表

※リモコンの有無・組み合わせは設置条件により異なります。

台所リモコン

お湯を出す‥‥P16

浴室リモコン

1 押す　2 給湯温度を設定する　3 給湯栓を開ける　4 給湯栓を閉める

〈リモコンなしの場合〉

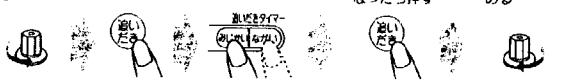
1 給湯栓を開ける　2 温度を調節する　3 給湯栓を閉める

浴室リモコン

おふろのお湯をあつくする‥‥P20

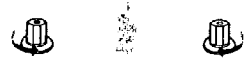
〈追いだきスイッチ付浴室リモコンの場合〉

1 バスヒーターのバルブを開ける　2 押す　3 追いだき時間を設定する　4 ブザー報知、または適温になったら押す　5 バスヒーターのバルブを閉める



〈追いだきスイッチなし浴室リモコンの場合〉

1 バスヒーターのバルブを開ける　2 適温になったらバスヒーターのバルブを閉じる



浴室リモコン

おふろにお湯をはる‥‥P18

台所リモコン

1 押す　2 湯量を設定する　3 温度を設定する　4 給湯栓を開ける

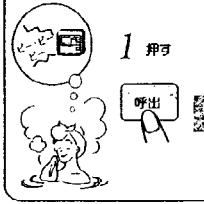
設定した湯量をお湯はりするとブザーでお知らせします。

5 給湯栓を閉める

浴室リモコン

おふろから呼ぶ

1 押す



台所リモコン・浴室リモコン両方でブザーが鳴ります。

台所リモコン

暖房音をおさえる‥‥P22

浴室リモコン

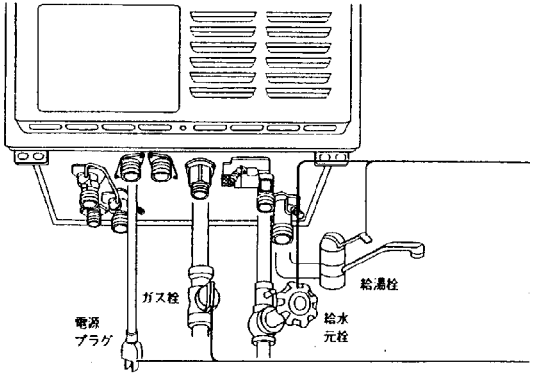
〔セット〕1 同時に押す（2秒以上）　〔解除〕2 同時に押す（2秒以上）

（台所リモコン）　（浴室リモコン）

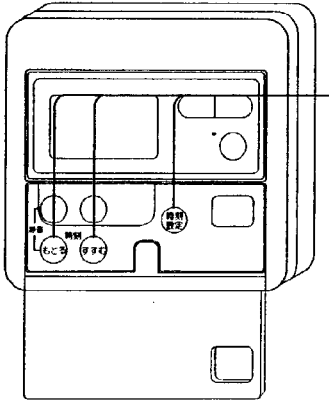
すぐ使いたいとき

初めてお使いになるとき

本体

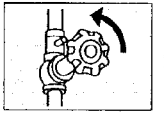


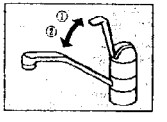
台所リモコン



※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合で説明してあります。

1 ■水の出ることを確かめる

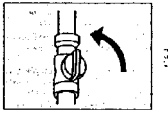


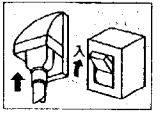


給水元栓
給湯栓を開ける

①開けて水を出し、
②閉める。

2 ■ガスの開栓と通電を確かめる



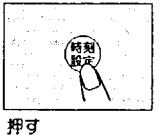


ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
またはブレーカを「入」
にする

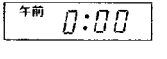
3 ■現在時刻を合わせる

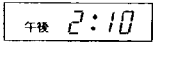
押す
「午前 0:00」が点滅。

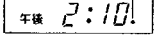
「時」「分」を合わす
例 午後 2時10分に合わす。



押す
「•」が点滅。







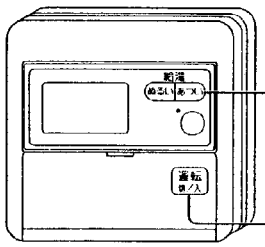
お知らせ

• もどる・すすむ スイッチは、1回押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

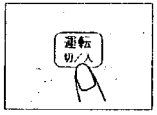
すぐ使いたいとき

お湯の出しかた（台所・洗面所）

台所リモコン

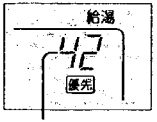


1



押す

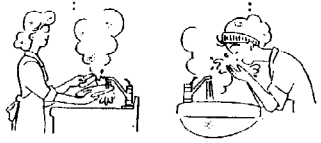
（画面が表示していることを確かめる。）



前回の給湯温度

お知らせ

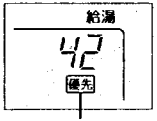
- 給湯栓を絞りすぎると➡熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 運転スイッチ「切」の状態でも約10 Wの電力を消費しています。
- リモコンがない場合は、給湯温度は約60 ℃になります。必ず混合水栓で温度を調節してください。
- ソーラーシステムと接続している場合
  ➡設定温度より高い温度のお湯が出る場合があります。



2

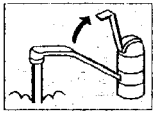
温度を設定する

- お湯の温度は約38～45、46、47 ℃の間と約60 ℃で設定できます。



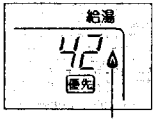
優先表示
（下記参照）

3



給湯栓を開ける

- 「 」が点灯。

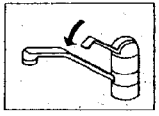


給湯燃焼表示

■ 2回目以降は

➡前回と同じ温度の湯が出ます。

4



給湯栓を閉める

- 「 」が消灯。

すぐ使いたいとき

お知らせ

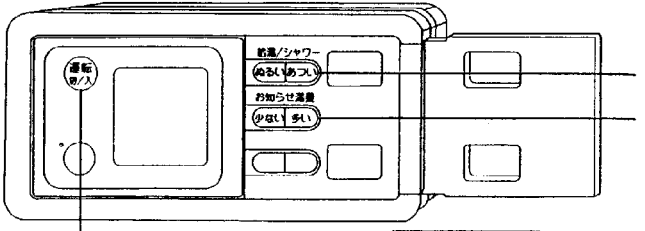
優先について （台所リモコンと浴室リモコンが両方ある場合）

優先表示の出ている方のリモコンのみ、給湯温度を設定できます。

- 優先表示が消えているときは➡浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは➡押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

お湯はりのしかた

浴室リモコン



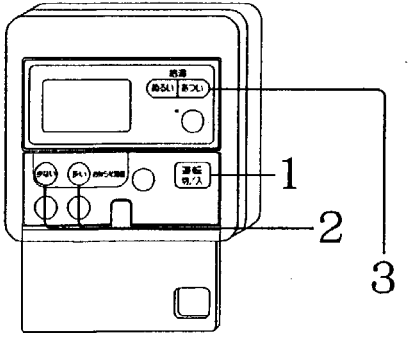
準備：おふろの排水栓を閉じる。

1

押す

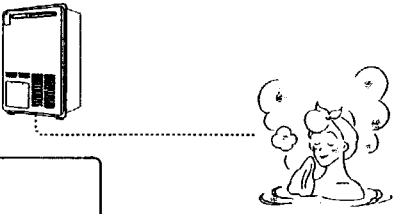
（画面が表示していることを確かめる。）

台所リモコン



お知らせ

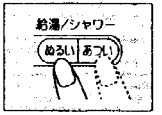
- 給湯栓をいったん閉め、再度開けると
  ➡新たに設定量のお湯が出るまでブザーはなりません。
- ソーラーシステムと接続している場合
  ➡設定温度より高い温度のお湯が出る場合があります。



2

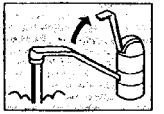
湯量を設定する

- 湯量は10、100～360(20Lきざみ)、500Lに設定できます。

3 

温度を設定する

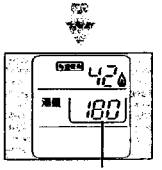
- お湯の温度は約38～45、46、47℃の間と約60℃で設定できます。

4 

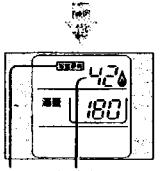
給湯栓を開ける

- 「 」が点灯。

すぐ使いたいとき



湯量表示



優先表示　温度表示

■ お知らせ湯量に達すると

➡ブザーでお知らせします。
給湯栓を閉めてください。
(自動的にお湯は止まりません。)
※お湯はり中は、できるだけリモコンから離れないでください。

■ 途中で消火するとき、止めるとき

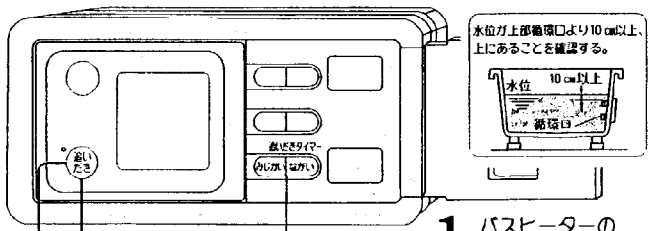
➡給湯栓を閉めてください。

お知らせ

- お湯はり中、他の給湯栓を開けると
  ➡おふろの湯量が少なくなります。
- 温度を設定するときは、リモコンに優先表示があることを確認してください。

おふろのお湯をあつくしたいとき

〈追いだきスイッチ付浴室リモコンのとき〉



1 バスヒーターのバルブを開く

2 押す（ランプ点灯）
➡設定時間追いだきするとブザーでお知らせします。

〈時間を設定したい場合〉
3 追いだき時間を設定する
- 1～80分の間で設定できます。（押すごとに1分ずつ変化し、押し続けると5分ずつ変化します。）

4 ブザー報知、または適温になったら押す
（ランプ消灯）

5 バスヒーターのバルブを閉める

■ 途中で止めるとき ➡もう一度（追いだき）を押しバスヒーターのバルブを閉める。

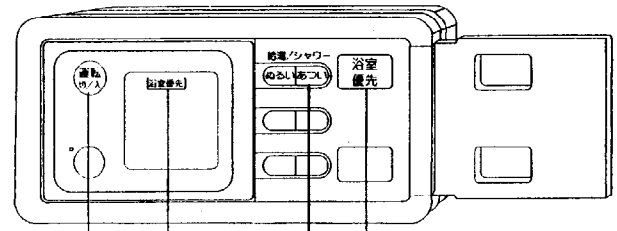
〈浴室リモコンのないとき、または追いだきスイッチのない浴室リモコンのとき〉
※バスヒーターの種類によっては、まず台所リモコンの暖房スイッチを押してから次の操作をする場合もあります。

1 バスヒーターのバルブを開く
➡追いだきをはじめます

2 適温になったら バスヒーターのバルブを閉じる
➡追いだきは止まります
- 80分をこえると閉め忘れのブザー報知をします。

お知らせ
- 追いだきスイッチを切り忘れたり、バスヒーターのバルブを閉め忘れたりすると➡ブザー報知を繰り返します。
- バスヒーターを使用していない場合は、給湯栓よりお湯を落し込んでください。
- 自動で追いだきは止まりません。

シャワーの使いかた



優先表示

1 押す
（画面が表示していることを確かめる。）

2 押す
（浴室優先 点灯を確認）

3 温度を設定する

4 給湯栓を開ける

すぐ使いたいとき

お知らせ 優先について
（台所リモコンと浴室リモコンが両方ある場合）
優先表示のついている方のリモコンのみ、給湯／シャワー温度を設定できます。
- 優先表示が消えているときは
➡浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは
➡押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

お知らせ
- 給湯栓を絞りすぎると➡熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- リモコンがない場合は、給湯温度は約60℃になります。必ず混合水栓で温度を調節してください。
- ソーラーシステムと接続している場合
➡設定温度より高い温度のお湯が出る場合があります。

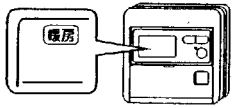
暖房のしかた

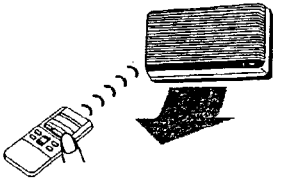
エアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。

エアコンを使用の場合

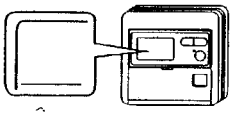
●エアコンの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

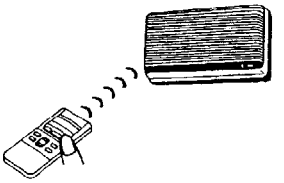
1 エアコンの
運転スイッチを入れる
• 暖房 が点灯。





2 エアコンの
運転スイッチを切る
• 暖房 が消灯。

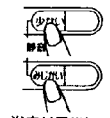




〔お知らせ〕暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用の場合は、放熱器のバルブを開け、暖房スイッチを押してください。

暖房中の熱源機の運転音が気になるとき…

1 同時に押す（2秒以上）



浴室リモコン

または

台所リモコン

• 静音 が点灯
運転音を下げて運転します。
（暖房能力は少し低下します。）

〈解除するとき〉

2 再度、
同時に押す（2秒以上）

• 静音 が消灯

日常の点検とお手入れ

「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を閉め、電源プラグを抜いて（ブレーカを「切」にして）熱源機が冷えてから行なってください。（定期的に行なってください。）

お手入れの方法

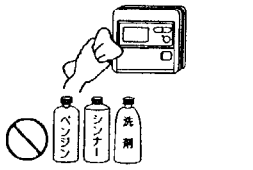
本　体

布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。

〔お願い〕ベンジン・シンナーなどは使用しない！

リモコン

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。

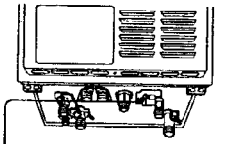


〔お願い〕ベンジン・シンナー・洗剤などは使用しない！

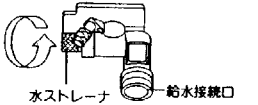
浴そう・洗面台

浴そう・洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると銅イオンと化合して青く変色することがあります。

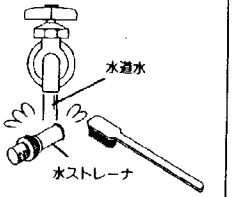
給水側水ストレーナ



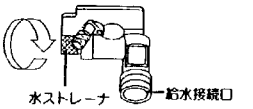
1 給水接続口にある
水ストレーナをはずす



2 歯ブラシなどで洗う



3 もとのように取り付ける

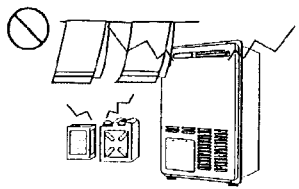


すぐ使いたいとき

日常の点検とお手入れ

点検の方法

■ 熱源機の異常音は？
■ 外観に異常は見られませんか？
■ 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？

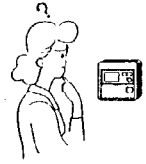


定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビやススが、ほこりなどがつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

故障かな！？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

症状	ご確認ください
運転(燃焼)しない 	●電源プラグがしっかり差し込まれていますか。ブレーカが「入」になっていますか。 ●ガス栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水していませんか。 ●凍結していませんか。(☛32ページ) ●停電していませんか。 ●ガス配管に空気が残っていませんか。 →点火操作をくり返す。 ●水ストレーナが詰まっていませんか。(☛23ページ) ●ガスメータに異常はありませんか。 (マイコンメータをお使いの場合マイコンメータのランプが点滅していませんか。)
お湯があつくならない	●ガス栓が全開になっていますか。 ●湯と水の量(混合水栓)の調節は適切ですか。
低温の湯が出ない	●給水元栓が全開になっていますか。 ●水ストレーナが詰まっていませんか。(☛23ページ)
リモコンの優先表示が点灯しない	●浴室リモコンの優先スイッチを押し、優先表示の点灯を確認する。(☛17-21ページ)
ブザー報知を繰り返す(追いだきが止まらない)	●追いだきスイッチを切り忘れていませんか。(☛20ページ) ●バスヒーターのバルブを閉め忘れていませんか。(☛20ページ)

すぐ 使いたいとき

もし 必要なとき

故障かな！？

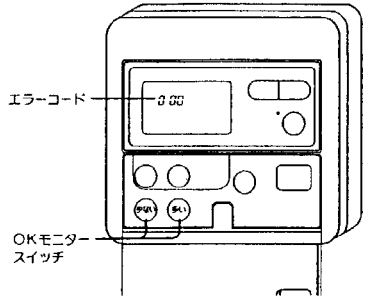
● 次のような場合は故障ではありません。

現象	理由
寒い日に排気口から湯気がでる	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
給湯栓を急に閉めるとゴツンと音がすることがある	水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。
暖房中、🔥がついたり消えたりする	お部屋の温度に応じて🔥がついたり消えたりします。
冬期、暖房を使っていないのに熱源機が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、一定温度以下に外気温が下がると熱源機が自動的に燃焼します。異常ではありません。
給湯使用時、ポンプ運転することがある	暖房回路のポンプ固着防止のためです。異常ではありません。

異常時には安全装置が働きます

1 給湯バーナーの炎が消えた場合……給湯立消え安全装置
2 暖房バーナーの炎が消えた場合……暖房立消え安全装置
3 暖房回路の水が万一極端に減った場合……空だき防止装置（暖房）
4 空だきした場合……空だき安全装置（給湯・暖房）
5 熱源機の温度が異常に上昇した場合……過熱防止装置
6 電気回路に漏電が生じた場合……漏電安全装置
7 過電流が流れた場合……電流ヒューズ
8 熱源機内の水圧が異常に上昇した場合……過圧防止安全装置

上記1～7の安全装置が働いた場合	リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ連絡してください。



エラーコードについて

不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。
OKモニタースイッチを2つ同時に約2秒以上押すと、画面表示部に過去のエラーコードを呼び出せます。

下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。それでも同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「切」にして再度「開」にしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたため。	
113	暖房側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。または追いだきスイッチを押しなおし、バスヒーターのバルブの操作をしなおしてください。
723	暖房側の回路に異常がおきたため。	
543	暖房用タンクに水が入っていない状態で、暖房運転をしたため。	すべての水抜き栓が「閉」・補給水バルブが「開」（☞33ページ）になっていることを確認し、電源を「切」にし、約30秒後再度「入」にしてください。
000	停電したため。	再通電後、時刻を設定しなおしてください。
101	熱源機の燃焼に異常がおきたため。	能力の低下した状態で使用できますが、安全のため必ず点検を受けてください。（有料）
991		ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。
上記以外の表示がでる場合は、運転スイッチを一旦「切」にして再操作してください。		

もし 必要なとき

故障かな！？

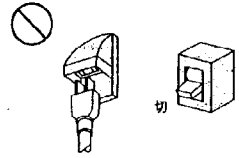
	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	〈停電時〉 ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 〈再通電後〉 ●使いかた(☞16ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●運転は、停止します。 ●給湯栓を閉じてください。 〈再通水後〉 ●使いかた(☞16ページ)によりご使用ください。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(☞16ページ)によりご使用ください。
ふろ追いだき	〈停電時〉 ●運転は、停止します。 ●バスヒーターのバルブを必ず閉めてください。 〈再通電後〉 ●供給元栓を開け、使いかた(☞20ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●運転は、正常運転します。 ●エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は再通水後故障かな(☞27ページ)により再操作をしてください。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止します。 ●追いだきスイッチを「切」にしてください。 ●バスヒーターのバルブを必ず閉めてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(☞20ページ)によりご使用ください。
暖房	〈停電時〉 ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈再通電後〉 ●使いかた(☞22ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●運転は、正常運転します。 ●エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は再通水後故障かな(☞27ページ)により再操作をしてください。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 ●暖房スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(☞22ページ)によりご使用ください。

凍結予防について

通常は自動保温します
(外気温0～−10℃で無風のとき)

給湯側

●運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。



絶対に電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。

浴そうの水を排水してください。

暖房側

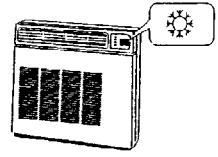
●外気温が0℃近くになると

自動的に凍結予防運転します。

(リモコンの暖房燃焼表示「🔥」が点灯)

●さらに寒さが厳しいときは

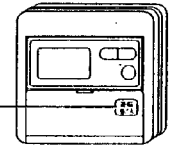
「☼」のある放熱器は運転スイッチを「☼」にする。



※配管・バルブの凍結予防はできません。

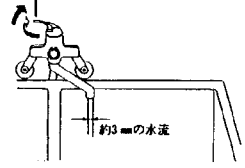
給湯栓から水を出す
(冷え込みが厳しいとき)

給湯側



1 運転スイッチを切る

2 給湯栓を開け、水を出しつづける



※電源を「切」にしないでください。(凍結予防ヒーターによる自動保温も行なっています。)

暖房側

左記の説明と同じです。

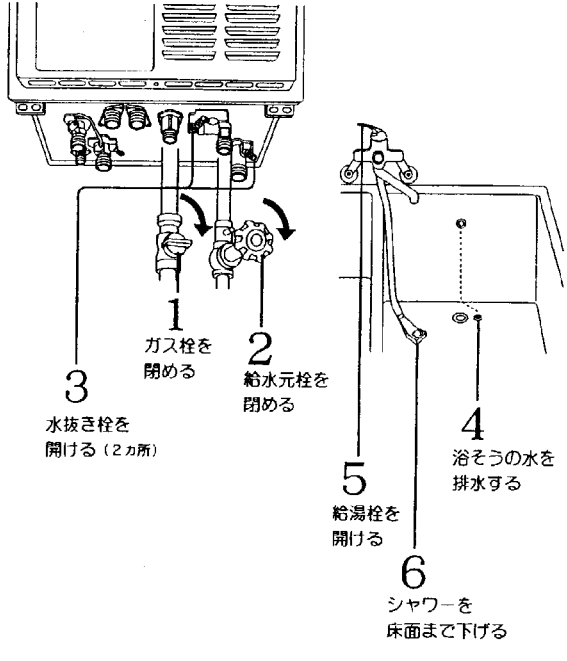
もし
必要なとき

凍結予防について

水抜きをする
（旅行など、長期不在のとき）

給湯側

※配管・バルブの凍結予防はできません。
※エラーコードの表示が出ることがあります。異常ではありません。
※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。



※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。

水抜きをする
（旅行など、長期不在のとき）

暖房側

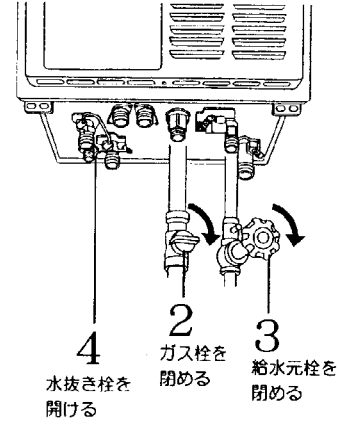
※不凍液の有無を確認してください。
※給湯・ふろ側は必ず、水抜きしてください。
※配管・バルブの凍結予防はできません。
※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。

〔不凍液が入っている場合〕 水抜きの必要はありません。

〔不凍液が入っていない場合〕 水抜きをしてください。
（約3Lの水が出ます。）

※1. 放熱器や配管・バルブの凍結予防はできません。
※2. 不凍液注入の有無はフロントカバーのラベルで識別できます。

1 電源プラグを抜く または
ブレーカを「切」にする

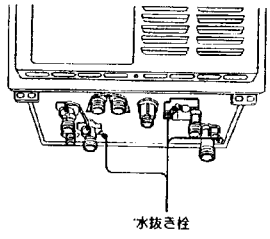


※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。

もし
必要なとき

凍結予防について

水抜き後の再使用のとき



1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は14ページの「初めてお使いになるとき」に従ってお使いください。

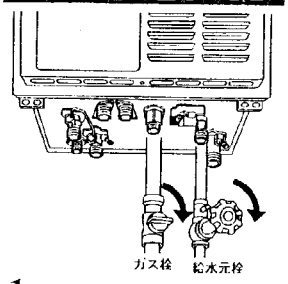
2 給水元栓を全開にする

3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込むまたはブレーカを「入」にする

凍結して水が出ないとき



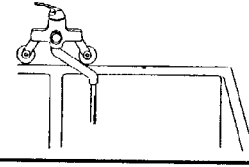
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 運転スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

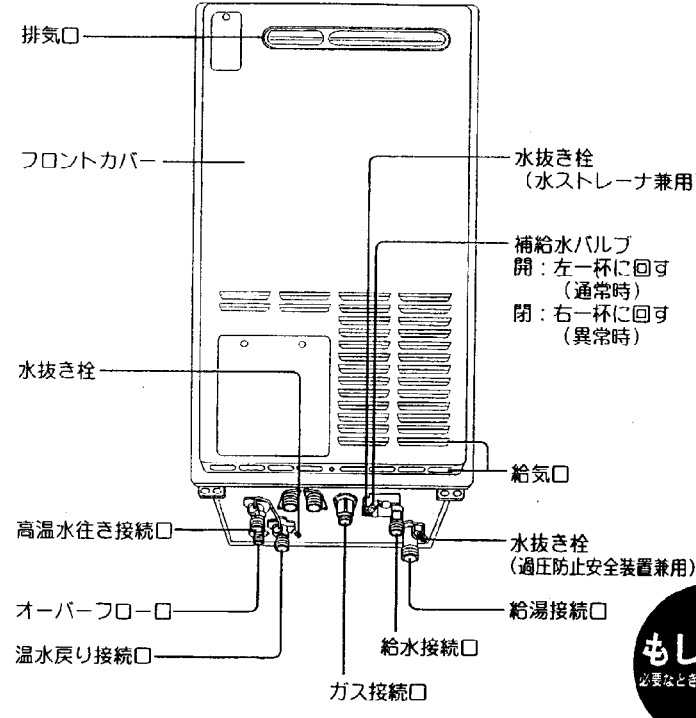
5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する



● 凍結による修理は有料です。

各部のなまえ 本体

※イラストはAD－248RA－Q・44－070の場合で説明してあります。



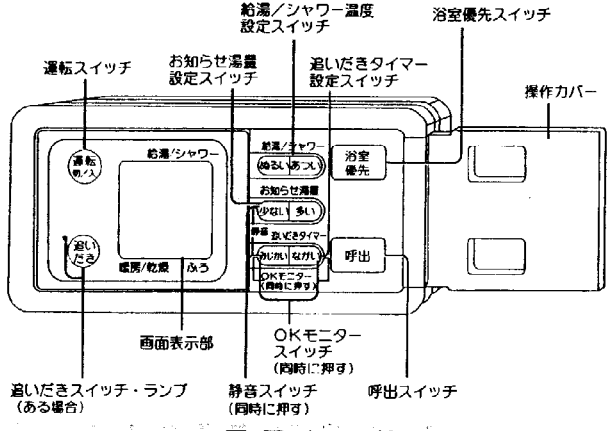
もし 必要なとき

浴室リモコン

台所リモコン

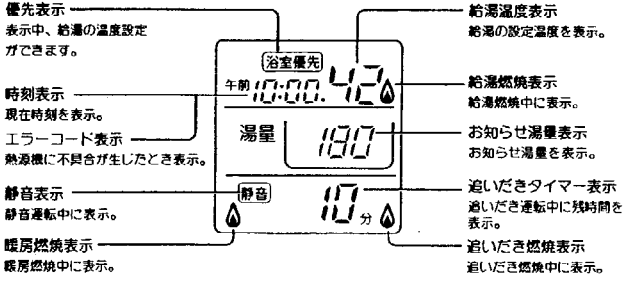
※リモコンの有無・組み合わせは設置条件により異なります。

各部のなまえ 浴室リモコン

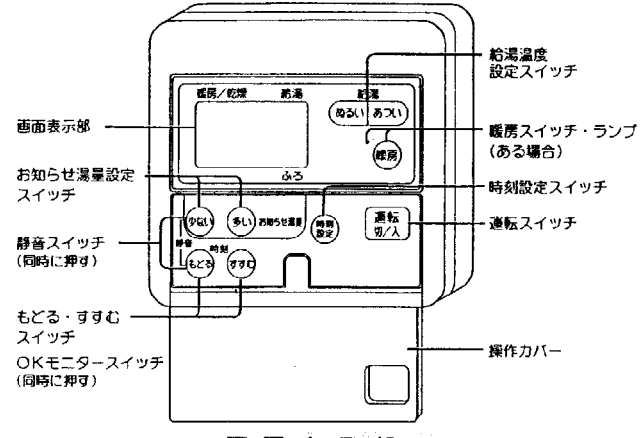


画面表示部

- 「給湯温度」の数値は目安です。
- 下記画面表示は説明のため全部表示したものです。

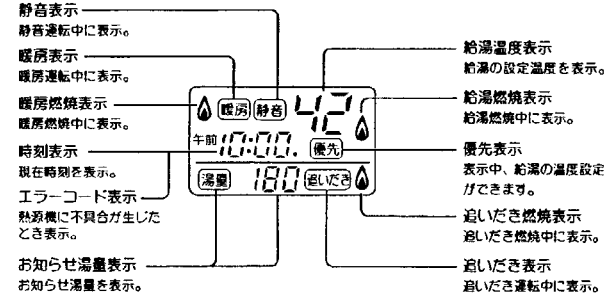


台所リモコン



画面表示部

- 「給湯温度」の数値は目安です。
- 下記画面表示は説明のため全部表示したものです。



※暖房スイッチ操作により追いだきする場合は、暖房燃焼表示が表示します。

もし 必要なとき

仕　様

機種名		ガス給湯暖房機	
型式名		AD-248RA-Q・-C、-D、-E、-F、-G	AD-248FA-Q
種類	給湯方式	先止め式	
	暖房方式	温水循環式	
	給排気方式	強制排気方式	強制給排気方式
設置方式		屋外設置方式	屋内設置方式
着火方式	給湯・暖房	ダイレクト着火	
外形寸法（mm）	本体	高さ750×幅480×奥行200	
	浴室リモコン	高さ 96×幅198×奥行 21	
	台所リモコン	高さ120×幅128×奥行 23	
質量（kg）	本体	36	
	浴室リモコン	0.3	
	台所リモコン	0.2	
水圧（kPa）	使用水圧	100（1kg／cm²）以上	
	作動水圧	15（0.15kg／cm²）	
最低作動水量（L／分）	給湯	2.8	
	暖房	0以上（締切り使用可）	
ポンプ機外揚程	暖房	39.2kPa（4.0mH₂O）：10.0L／分のとき	
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式	
	暖房	電子式ガス比例制御およびON・OFF制御方式	
温度設定（℃）	台所リモコン　給湯	約38～約47（1℃間隔）約60（リモコンなし時約60）	
	浴室リモコン　給湯・シャワー	約38～約47（1℃間隔）約60（リモコンなし時約60）	
	暖房	約80	
給湯量制御方式		水量比例制御方式（Q機能）	
安全装置		給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置 停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター 水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置	
消費電力（W）	運転時	200（60Hz）／180（50Hz）	200（60Hz）／180（50Hz）
	運転停止時	10（50／60Hz）	
	凍結予防運転時（最大）	200（60Hz）／180（50Hz）	
接続	ガス	R¾オネジ（20A）	
	給水・給湯	R½オネジ（15A）	
	暖房　往温	G¾（20A）	
	暖房　戻	G¾（20A）	
	オーバーフロー口	R½オネジ	
	電気	本体電源　AC100V　50／60Hz　3心（うち1心アース用）	
		浴室リモコン2心・台所リモコン2心	
	給排気接続口	屋内式：給気口φ80、排気口φ80	
付属品		取扱説明書・工事説明書	
B L 品番		AD-248RA-Q	AD-248FA-Q

※リモコンは、付属していない機種もあります。

使用ガス／使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量 kW（kcal／h） 全ガス消費量	給湯ガス消費量 最大	給湯ガス消費量 最小	暖房ガス消費量	標準出力 kW（kcal／h） 能力最大時 給湯	能力最大時 暖房
都市ガス用	13A	48.8（42 000）	35.0（30 100）	5.70（4 900）	17.4（15 000）	27.9（24 000）〔16号〕	14.0（12 000）
都市ガス用	12A	45.5（39 100）	32.6（28 050）	5.35（4 600）	16.3（14 000）	25.9（22 260）〔14.8号〕	12.9（11 100）
LPガス用		48.8（3.50kg／h）	33.7（2.42kg／h）	5.60（0.40kg／h）	16.7（1.19kg／h）	27.9（24 000）〔16号〕	14.0（12 000）

		都市ガス用13A・LPガス	都市ガス用12A
出湯能力 L／分（水圧：100kPa（1kg／cm²）時）	水温＋25℃上昇	〔16.0〕	〔14.8〕
	水温＋40℃上昇	10.0	9.3

● 給湯能力の〔 〕内は、混合水栓で湯と水を混合した計算値です。

もし 必要なとき

仕　様

機種名			ガス給湯暖房機	
型式名			AD-368RA-Q、-C、-D、-E	AD-368FA-Q
種類	給湯方式		先止め式	
	暖房方式		温水循環式	
	給排気方式		強制排気方式	強制給排気方式
設置方式			屋外設置方式	屋内設置方式
着火方式	給湯・暖房		ダイレクト着火	
外形寸法（mm）	本体		高さ750×幅480×奥行250	
	浴室リモコン		高さ 96×幅198×奥行 21	
	台所リモコン		高さ120×幅128×奥行 23	
質量（kg）	本体		39	
	浴室リモコン		0.3	
	台所リモコン		0.2	
水圧（kPa）	使用水圧		100（1kg／cm²）以上	
	作動水圧		15（0.15kg／cm²）	
最低作動水量（L／分）	給湯		2.8	
	暖房		0以上（連続使用可）	
ポンプ機外揚程	暖房		39.2kPa（4.0mH₂O）：10.0L／分のとき	
温度制御方式	給湯		電子式ガス比例制御方式	
	暖房		電子式ガス比例制御およびOFF制御方式	
温度設定（℃）	台所リモコン	給湯	約38～約47（1℃間隔）約60（リモコンなし時約60）	
	浴室リモコン	給湯・シャワー	約38～約47（1℃間隔）約60（リモコンなし時約60）	
	暖房		約80	
給湯量制御方式			水量比例制御方式（Q複能）	
安全装置			給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置 停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター 水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置	
消費電力（W）	運転時		200	200
	運転停止時		10	
凍結予防運転時（最大）			200	
接続	ガス		R¾オネジ（20A）	
	給水・給湯		R¾オネジ（20A）	
	暖房	高温往	G¾（20A）	
		戻	G¾（20A）	
	オーバーフロー口		R½オネジ	
	電気		本体電源 AC100V 60Hz 3心（うち1心アース用）	
			浴室リモコン2心・台所リモコン2心	
	給排気接続口		屋内式：給気口φ100、排気口φ100	
付属品			取扱説明書・工事説明書	
BL品番			AD-368RA-Q	AD-368FA-Q

※リモコンは、付属していない機種もあります。

使用ガス		1時間当たりのガス消費量 kW（kcal／h）				標準出力 kW（kcal／h）	
使用ガスグループ		全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時	
			最大	最小		給湯	暖房
都市ガス用	13A	69.5 (59 800)	52.3 (45 000)	5.70 (4 900)	17.4 (15 000)	41.9 (36 000) 〔24号〕	14.0 (12 000)
	12A	——	——	——	——	——	——
LPガス用		66.5 (4.75kg／h)	51.1 (3.65kg／h)	5.74 (0.41kg／h)	16.7 (1.19kg／h)	41.9 (36 000) 〔24号〕	14.0 (12 000)

		都市ガス用13A・LPガス	都市ガス用12A
出湯能力 L／分（水圧:100kPa(1kg／cm²)時）	水温＋25℃上昇	〔24.0〕	——
	水温＋40℃上昇	15.0	——

● 給湯能力の〔 〕内は、混合水栓で湯と水を混合した計算値です。

もし
必要なとき

お客様へのご案内

この度は、大阪ガスのガス給湯暖房機をお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。

取扱説明書に記載の型式名と、大阪ガスの機器コードの対照について下表の通りご案内申し上げます。

〈熱源機〉

大阪ガス機器コード	型　式　名	設置方式
44-070型	AD-248RA-Q	屋外式
44-071型	AD-248RA-Q-C	屋外式
44-072型	AD-248RA-Q-D	屋外式
44-073型	AD-248RA-Q-E	屋外式
44-074型	AD-248FA-Q	屋内式
44-090型	AD-368RA-Q	屋外式
44-091型	AD-368RA-Q-C	屋外式
44-092型	AD-368RA-Q-D	屋外式
44-093型	AD-368RA-Q-E	屋外式
44-094型	AD-368FA-Q	屋内式

〈リモコン〉

大阪ガス機器コード	型　式　名
46-500型	台所リモコン
46-501型	台所リモコン（暖房スイッチ付）
46-502型	浴室リモコン
46-503型	浴室リモコン（追いだきスイッチ付）

お客様からの販売店または大阪ガスへの、この機器についてのお問い合せは、大阪ガスの機器コードをご連絡いただきますようお願いいたします。
（添付の保証書および機器本体上部または下部に、大阪ガスの機器コードを明示いたしております。）

お客様には、大阪ガスの給湯暖房システムを快適に、末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

大阪ガス

KCH9504LS3A1 F1297-0

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部 〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 電話 大阪 06(586)1122
南部事業本部 〒590-0973 堺市住吉橋町2-2-19 電話 堺 0722(38)1131
和歌山支社 〒640-8033 和歌山市本町1-5 電話 和歌山 0734(31)2481
北東部事業本部 〒578-0925 東大阪市稲葉2-3-17 電話 河内 0729(62)1131
北部事業所 〒569-0025 高槻市藤の里町39-6 電話 高槻 0726(71)0361
奈良支社 〒631-0036 奈良市学園北2-4-1 電話 奈良 0742(44)1111
兵庫事業本部 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 神戸 078(360)3100
姫路支社 〒670-0836 姫路市神屋町4-8 電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社 〒668-0047 豊岡市三坂町6-57 電話 豊岡 0796(23)2221
京滋事業本部 〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町1 電話 京都 075(311)7381
滋賀支社 〒525-0037 草津市西大路町5-34 電話 草津 077(562)5311
滋賀東支社 〒522-0074 彦根市大東町12-11 電話 彦根 0749(22)3131
長浜営業センター 〒526-0058 長浜市南呉服町3-4 電話 長浜 0749(62)7171
本社 〒541-0046 大阪市中央区平野町4-1-2 電話 大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社